

主要事業マネジメントシート

部局名 教育委員会事務局

事業名	障がいのある生徒の高校生活支援事業 / 担当室課 教育振興室 高等学校課				
予算額	H24 118,923 千円(118,923 千円)	H26 114,297 千円(114,297 千円)	実績	H24 92,253 千円(92,253 千円)	
	H25 117,303 千円(117,303 千円)	H27要求 114,295 千円(114,295 千円)		H25 94,125 千円(94,125 千円)	
事業の優先性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名: 教育) <input type="checkbox"/> 人口減少関係 (項目名:) <input type="checkbox"/> 成長戦略 (項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン (項目名:) <input type="checkbox"/> その他 (項目名:)				
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由)府立高校における障がいのある生徒の個々の状況に即した学校生活や学習の支援であるため	行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由)府立高校における障がいのある生徒の個々の状況に即した学校生活や学習の支援であるため
	事業手法	手法の妥当性	エキスパート支援員(臨床心理士など専門的知識を持つ者)及び学校生活支援員が、支援要請のある学校を訪問し、必要に応じて生徒への直接の対応及び教員に対する指導や助言を行うことにより、生徒一人ひとりの障がいの状況に応じた支援を行う。		
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない		
		将来のリスク管理	特になし		
	事業間調整	庁内での連携	特になし		
他事業との整合性等		特になし			
事業効果	目標・指標	(事業目標) 府立高校において、障がいのある生徒と障がいのない生徒が「ともに学びともに育つ」教育の推進のため、教育環境の整備を行う。 (指標) 障がいにより配慮を要する生徒が在籍している学校からの申請に基づき、エキスパート支援員及び学校生活支援員を配置することにより、生徒一人ひとりの障がいの状況に応じた学校生活支援がなされている。		(実績) 平成25年度実績 ・エキスパート支援員(臨床心理士)を全府立高校に配置 ・学校生活支援員を要望のあった学校(介助員30校、学習支援員27校)に配置	
	コスト分析	(事業期間)	H 23 ~ H		-目標に達しなかった場合の改善方策 ・生徒一人ひとりの状況に応じた支援方法について、教職員に周知を図る。
		(指標)			
	H24(フルコスト)	千円 / (分析単位) =	千円	(コスト分析結果) H25(フルコスト) 千円 / (分析単位) = 千円	
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入>				